

令和5年12月
一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会議事録

日時： 令和5年12月2日(土) 15:00～18:00

場所： ハービス PLAZA 5階(8,9,10号)会議室

会 長： 藤本啓治 会長代行： 小林正之
副会長： 白木隆士 木下裕介 堀口泰輔 中谷晃之
理 事： 明石健一 榎本 誠 大窪 博 荻野 晃 片岡英一郎 河崎美也子 貴島浩二
岸本英樹 越宗 勝 清水広太 神藤佳孝 竹口輝彦 調子和則 中川浩彰
中野晋吾 橋本和喜 長谷川利雄 邊見俊一 前中孝文 増田 博 宮口正継
宮崎 浩 宮島茂夫 宮田重樹 村上仁志 森下 忍 山口眞一 山本善哉
吉村弘治 和田孝彦

監 事： 黒田晃司 山本 哲 オブザーバー： 特別出席者： (敬称略)

定刻に出席 25 名が確認され、理事会が開始された

令和5年9月 OCOA 理事会議事録の承認

中野理事

承認された。

[協議事項]

1、研修会実施予定

堀口副会長

第366回大阪臨床整形外科医会スポーツ研修会(令和6年1月20日 WEB開催 配信場所：しんとう
整形外科・リウマチクリニック) OCOA 単独開催

講演Ⅰ「膝スポーツ傷害の実際と治療」 座長：中野晋吾 先生

講師：大阪医科薬科大学整形外科学教室講師 大槻周平 先生

講演Ⅱ「肩関節スポーツ障害の診かた・治しかた」座長：吉村弘治 先生

講師：大阪医科薬科大学整形外科学教室講師(准)長谷川彰彦 先生

講演Ⅲ「足部・足関節におけるスポーツ傷害-最新の知見を含めて-」 座長：堀口泰輔 先生

講師：大阪医科薬科大学整形外科学教室講師(准) 嶋 洋明 先生

第367回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和6年2月17日 WEB開催) 共催 科研製薬

講演Ⅰ「急速破壊型股関節症発症早期の病態」 座長：岸本成人 先生

講師：神戸市立医療センター中央市民病院 副院長 安田 義先生

講演Ⅱ「二次性骨折予防の現状と展望 ～地域で取り組むシステムづくり～」座長：小坂理也 先生

講師：西宮協立脳神経外科病院 副院長 瀧川直秀先生

第368回大阪臨床整形外科医会研修会

(令和6年4月20日 グランフロント大阪 北館タワーB 10F) 共催 大正製薬

受付 竹口輝彦 先生 大成浩征 先生 司会 山本善哉 先生

講演 I 「(未定)」 座長：片岡英一郎 先生

講師：社会医療法人愛仁会井上病院 副院長 整形外科・リウマチ科 佐藤宗彦 先生

講演 II 「(未定)」 座長：貴島浩二 先生

講師：近畿大学医学部 整形外科学教室 主任教授 後藤 公志 先生

第 369 回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 6 年 5 月 11 日 エーザイ (株) 大阪オフィス梅田スカイビルタワーイースト 33F) 共催 エーザイ

受付 清水広太 先生 邊見俊一 先生 司会 榎本 誠 先生

講演 I 「(未定)」 座長：調子和則 先生 講師：(未定)

講演 II 「(未定)」 座長：和田孝彦 先生

講師：関西医科大学総合医療センター 整形外科・リウマチ科

教授 松矢浩暉 (まつや ひろゆき) 先生

第 370 回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 6 年 6 月 29 日) 共催 東和薬品

大阪臨床整形外科医会 特別研修会 (令和 6 年 7 月 27 日) 共催 大塚製薬

講演 I 講師：順天堂大学医学部附属浦安病院 整形外科 准教授 市原 理司 先生

講演 II 講師：千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任教授 山内かづ代 先生

第 371 回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 6 年 8 月 24 日) 共催 旭化成ファーマ

以上、令和 6 年 4 月以降は対面式しか研修会を行わないことを確認し、承認された。

2、会員動態

白木副会長

令和 5 年 11 月 27 日現在

前回理事会(令和 5 年 9 月 2 日 正会員 480 名)以降 新入会 2 名

富田誠司先生 令和 5 年 10 月 2 日入会 正会員 (大阪医大 平成 6 年卒、高槻市)

吉川尚孝先生 令和 5 年 10 月 5 日入会 正会員 (関西医大 平成 17 年卒、寝屋川市)

前回理事会(令和 5 年 9 月 2 日)以降 退会 1 名

汐見 徹先生 令和 5 年 11 月 14 日退会 正会員 (廃院のため)

令和 5 年 11 月 27 日現在

正会員 481 名 特別会員 6 名 (うち 3 名が JCOA 名誉会員)

JCOA 正会員は OCOA 正会員 481 名+OCOA 特別会員 6 名=487 名(名簿最終ナンバー)
から JCOA 名誉会員 6 名 を除いた 481 名

3、OCOA令和6・7年度組織表(案)

白木副会長

会長候補	貴島 浩二	JCOA 対策、医政、地域情報
会長代行	白木 隆士	医療保険、広報、災害対策、定款、総務
副会長	木下 裕介	定款、骨と関節の日、大阪マラソン、経理(副)、療法士、リクルート・HP(主)
副会長	堀口 泰輔	財務・経理
副会長	宮崎 浩	学術、介護保険・運動器リハ
副会長	河崎美也子	男女共同参画

理事 44 名の選任案、執行部案(表参照)、OCOA 組織の新体制 が発表された

- ・中谷晃之理事に代わり川崎美也子理事が常任理事及び副会長に就任
- ・体調不良により、次期会長候補が小林副会長から貴島理事に変更となる
- ・OCOA 創立 50 周年記念祝賀会実行委員会(新設)

2026 年 11 月 28 日(於 リッツカールトン大阪) 各大学から実行委員を選出予定
以上、承認された

4、新入会の申込みについて

白木副会長

柴田 敏弥 先生の新入会について、承認された。

5、会員情報データベース構築に関して

神藤理事

会員名簿データベース作成(local@support 社) 導入について、承認された。

6、第 50 号 OCOA 会報広告協賛趣意書について

岸本(英) 理事

平成 29 年度から令和 5 年度まで OCOA 会報広告収入が提示され会報広告収入は減少傾向にあり、
会報広告協賛掲載料(半頁)を ¥25,000 円→¥30,000 円に値上げすることが提案された。

以上、承認された

7、第 12 回大阪マラソンに関して

大窪理事

- ・令和 6 年 2 月 25 日(日)開催される第 12 回大阪マラソンにおいて、大阪マラソン組織委員会から OCOA 会長宛に整形外科医 49 名の救護所出務派遣依頼があり、OCOA マラソン委員会で新出務 10 名を含む 49 名の派遣予定者を調整した
- ・大阪マラソン関連経費を下げるため、情報交換会はビュッフェ形式でフリードリンク制にする
- ・救護所バスについて、22Km以降の救護所からは内科医師の乗車が望ましい、最後尾バス乗車時にメンバーチェックをしてほしい、等の要望があり大阪府マラソン委員会と交渉することとした。

以上、承認された

8、令和 5 年度 OCOA レジメ委員会 について

中野理事

第 48 回大阪臨床整形外科医会社員総会のレジメ作成のため、レジメ（終了後に懇親会）を 12 月 24 日(日)にセンタラグランドホテル大阪（難波）で行うことが提案され、承認された。

9、OCOA 予算決算比較表 R6 年 1 月期 (R5 年 9 月現在) 中谷副会長

10、OCOA 収支 3 期比 令和 6 年 1 月期 中谷副会長

11、研修会入金一覧 中谷副会長

12、令和 6 年度予算案について 中谷副会長

協議事項 9~11 について、広告収入と研修会収入の減少が報告された。

収支の黒字化が見込まれる OCOA 年会費を値上げ（15、参照）した予算案が提案された。
承認された。

13、OCOA 正味財産増減計画書 R5 年 10 月時点予想 中谷副会長

令和 5 年 9 月 30 日までの令和 5 年度 OCOA 収支（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録）が報告され、令和 5 年度の OCOA 収支予測について検討された。

14、大阪臨床整形外科医会療法士会令和 6 年度事業方針・事業計画 中谷副会長

会員数 77 名のうち会費（年会費 1,000 円）未納者 17 名あり、所属クリニック院長が会費を支払っているケースに未納が多い、と報告された。来年度も年 6 回の研修会予定。

令和 5 年 10 月までの収支、次年度予算（OCOA から 10 万円の助成金）が提示され、承認された。

15、会費値上げに関して 藤本会長

<値上げを必要とする理由>

- ① コロナ禍で共催会社の撤退・縮小があり、研修会収入が減少している
- ② Web 研修会の事務手続き担当役員の負担が大きすぎるため、今後、対面以外の研修会は行わない
- ③ 今後も OCOA の目的（定款第 4 条）事業（第 5 条）を遂行するためには相応の経済的余裕が必要

<OCOA の講じてきた対策>

出務費の削減、会報・名簿のデジタル化による印刷費等の削減、HP を介した収入源の確保
令和 5 年度の収支（次年度繰り越し）予定額は 17 万円程度で全く余裕が無く、年会費 12,000 円から 24,000 円へ値上げが提案され、その収支予測が紹介された。

承認された。

16、その他 藤本会長

特になし

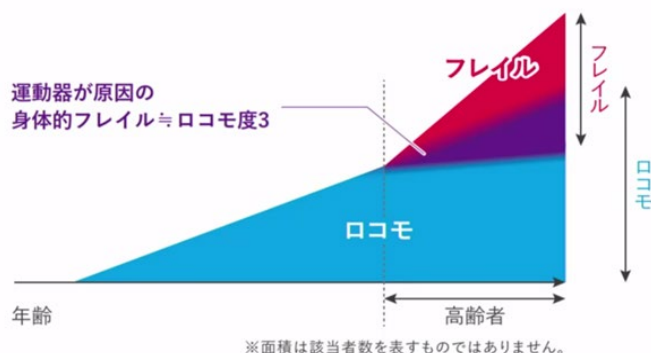
[報告事項]

1、ロコモ・フレイル OCOA 理事会

長谷川理事

ロコモとフレイルは健康寿命の延伸を共通目的としているが、フレイルが65歳以上に限定されているのに対してロコモは全年齢を対象としている。概念としてロコモは身体的フレイルに含まれるが、疫学研究からはフレイルの大部分がロコモに含まれる。フレイルに比べロコモはより軽度の機能低下を検出するため、若年者も含めた広い年齢層において運動器の軽度の機能低下がまずロコモとして検出される。その中から徐々に重症化して高齢者ではフレイルに至る。したがって、65歳以上の高齢者だけでなく幼少期から全世代を網羅した運動器(ロコモ)の啓発が重要であり、両者をロコモ・フレイルとして一体的にアプローチする必要がある。

ロコモと身体的フレイルとの関係



※この図の面積など詳細については、日本医学会連合の「領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたWG」で検討が進められており、今後変更される可能性があります

相違点	ロコモ	フレイル
概念	運動器の障害に焦点	身体的、精神・心理的、社会的問題を含む包括的な概念
対象年齢	年齢の限定なし	65歳以上に限定
特徴	2016年度から全国小中学校で運動器健診が開始：「四肢の状態」という項目の追加	高齢者の健康政策に取り入れられ、2020年度から健診項目にフレイルに関する質問票が追加
共通目的	「健康寿命の延伸」に置いている点	

2、令和5年度第2回災害医療チーム検討委員会

9/18・WEB

神藤理事

理事会審議付帯事項：

- ・第36回 JCOA 学術集会（千葉）のシンポジウム資料のウェブ掲載について
小松大介氏が「クリニックのBCP：クリニックに必要な『災害対策』とは？」を発表、JCOA ウェブサイト上の「会員の部屋」に掲載することについて理事会に上程することとした。
内容（クリニックに必要なBCPとその策定要領、無床診療所のBCP簡易チェックシート）

委員会決議事項：

- ・令和 6 年 2 月開催の日本災害医学会に於いて、河村英徳理事が企画した『「災害時の整形外科医療の結集（仮）』～JOA 災害対応委員会と JCOADiT と JRAT の学会連携を考える～』のタイトルでシンポジウムが提案され、了承された。

委員会報告事項：

- ・今後の JCOADiT と JRAT、日整会災害対策委員会との協力体制構築に関して JRAT 執行部との交渉は水面下で進行している。整形外科関連 3 組織の連携を模索している。

3、日本整形外科学会令和 5 年度第 4 回理事会 9/21・東京 神藤理事

令和 5 年度第 1 回男女共同参画委員会（8 月 30 日）の報告をされた山内かつ代理事（千葉大学）は OCOA 特別研修会（令和 6 年 7 月 27 日 共催大塚製薬）で講演される予定

4、令和 5 年度第 2 回 JOA メンバーシップ委員会 11/7・東京 神藤理事

厚生労働大臣より行政処分を受けた会員への対応、「整形外科医をめざそう」改訂進捗状況など、が話し合われた

5、令和 5 年度第 4 回 JCOA 理事会 及び 整形外科医政協議会執行委員会 10/22・大阪 貴島理事

【審議事項】

- ・副腎エキス・ヘパリン類似物質配合剤の不採算品再算定に関する要望書について（新井）
厚生労働省医政局に副腎エキス・ヘパリン類似物質配合剤「ゼスタッククリーム」を不採算品として頂ける要望書を提出することが承認された。

【各種報告事項】

- ・令和 6 年度診療報酬改定要望書について（Ver.1）（新井）
 1. 小児運動器疾患指導管理料の対象疾患の拡大
 2. ロコモ・フレイル指導管理料の新設
 3. ギプス包帯管理料の新設以上の令和 6 年診療報酬改定要望書が厚生労働省に提出されたことが報告された。
- ・「運動器の健康・日本協会」が開始しようとしているスクールトレーナー制度について（新井）
文部科学副大臣今枝宋一郎先生に学校保健における整形外科領域（運動器）の施策に関する要望書を提出したことが報告された。認定スクールトレーナー制度は理学療法士法で「理学療法士とは医師の指示の下に、理学療法を行うことを業とする者をいう。」と規定されており、理学療法士が単独で学校現場において個別に相談を受け、指導することは理学療法士法違反に当たる恐れもある。
以上のような理由で現行での「認定スクールトレーナー」制度に反対して頂くよう要望した。
- ・ベリーベスト法律事務所への対応について（村井）

交通事故患者さんを紹介してほしいという内容のDMが届いたと自賠労災委員会に情報提供があったことが報告された。医療機関から、患者を法律事務所へ紹介することは、法律違反になる可能性があることも理解し、医療機関がトラブルに巻き込まれないように注意が促された。

- ・ロキソプロフェンNa貼付剤（パップ剤の需要が5%以下）の剤型集約とそれに伴う一部剤型の販売中止（東和薬品）について（回答）（金淵）

製品の安定的供給が確保されるよう、厚労省、他製薬メーカーとの調整をお願いした。

- ・第41回JCOA学術集会（鳥取・島根 令和10年開催予定）の会期について（大山）
毎年7月の海の日連休に皆生トリアスロンが開催されているため、宿泊施設や会場確保が難しく、会期を令和10年9月の第3週（9月17・18日）に変更し、開催されることが報告された。

6、令和5年度第2回JCOA学術委員会

10/18・WEB

堀口副会長

委員会報告事項

- ・第97回日本整形外科学会学術総会のシンポジウム採択結果

【採用】 「運動器検診の現状と課題」

「災害時の整形外科医における災害支援活動等の現状と課題」（河村、神藤）

「ロコモ・フレイル予防を最大限に引き出す保存治療法」

「交通事故を取り巻く諸問題 ー弁護士等の関与についてー」

【不採用】 「実地整形外科臨床医が実践する四肢疾患の究極の保存療法」

7、第82回JCOA近畿ブロック会

11/11・大阪

堀口副会長

【各委員会報告】

令和5年度第1回自賠・労災委員会 7/13 (WEB) (奈良 村井 聡先生)

第36回JCOA学術集会(千葉)シンポジウムについて

シンポジウムタイトル 「交通事故を取り巻く諸問題 -弁護士等の関与について-」

座長：山下仁司アドバイザー、村井 聡理事

- ・演題1「患者側の弁護士が関わってきた事例について」 演者 中村克巳委員長
- ・演題2「損保側の弁護士が関わってくる事例について」 演者 三平伸一副委員長
- ・演題3「弁護士・裁判所等からの医療照会文書について」 演者 松崎信夫アドバイザー
- ・演題4「弁護士との対応について -弁護士の立場から-」 演者 羽成 守弁護士

健保一括に関するアンケート調査について

兵庫県国保連合会が健保一括とすることが違反である旨を記載した文書を作成し配布する予定であることが報告されたため、アンケート調査の実施は保留とすることとした。

令和5年度第1回「Q&A 交通事故診療ハンドブック」編集WG 4/3WEB (奈良 村井 聡先生)

「交通事故診療コミック版 2(応用編)」について、令和5年5月に上梓された。

令和5年10月15日現在発売状況は3000冊余りであるが各県での購入を検討していただきたい。

令和5年度第1回スポーツ委員会 6/11 東京 (滋賀 麻生伸一先生)

第36回JCOA学術集会(千葉)におけるスポーツ医懇談会について最終確認した。

教育研修講演「人を伸ばす、力を引き出す育成法 ーそして医師に望むことー」

シンポジウム

- ・「都内初の大規模野球肘検診を開催して ー得られたものと課題ー」 大沢亜紀先生
 - ・「ストリートダンスの外傷・障害のメカニズム」 岩本 航先生
 - ・「足関節捻挫の治療と予防へのアプローチ ー大規模検診からわかったことー」 永井聡子先生
- 第 37 回 JCOA 学術集会（熊本）におけるスポーツ医懇談会について
「成長期野球選手を守ろう！ ー令和の現状とすべき対策ー」をテーマに開催する。

【審議事項】

近畿ブロック JCOA 役員の推薦について（大阪 貴島浩二先生）

来年度に JCOA 役員の改選がある。大阪、兵庫、滋賀からそれぞれ理事を選出することになり、大阪 神藤佳孝先生（ブロック長）、兵庫 辻本和雄先生、滋賀 小林昌明先生 が選出された。

【その他】

第 50 回 JCOA 研修会（京都）について、プロモーションビデオでの研修会報告があった。

8、令和 5 年度 OCOA 運動器リハ・セラピスト資格継続研修会開催報告

10/29・大阪

山本(善) 理事

1) 開催概要

* 令和 5 年 10 月 29 日（日）12：00～16：30 大阪府医師協同組合本部 8F 大ホール

* 講師および 演題

①岸本英樹 先生 関節リウマチとリハビリテーション

②宮田重樹 先生 腰痛、膝痛、運動器不安定症に対するロコモ運動療法

（上記 2 演題はロコモコーディネーター資格継続単位取得研修も含む）

③宮口正継 先生 高齢者疾患の特性を踏まえたリハビリテーション ～後方支援病院の経験から～

④吉村弘治 先生 上肢のリハビリテーション

* 日本運動器科学会 資格継続単位 4 単位 * SLOC ロコモコーディネーター資格継続単位 2 単位

* 参加者 117 名（会員施設 80 名、非会員施設 37 名、当日欠席 2 名）

ロコモコーディネーター資格継続単位希望受講者 26 名

* 出務医師（敬称略、順不同）

山本（善）（委員長）、堀口、中谷、岸本、吉村、明石、榎本、清水、和田

* 今回は研修会案内の郵送物にちらし同封の依頼はせず、NETLINX による会員施設への FAX 送信を行い、事務作業の軽減とコスト削減に努めた。

* 来年度（令和 6 年度）も同様の形式で令和 6 年 10 月 27 日（日）に開催予定。

* 収入 542,000 円 支出 233,434 円 で収支は +308,566 円

9、令和 5 年度第 7 回ホームページ管理委員会

11/7・WEB

宮口理事

協議事項：

1. ホームページ管理委員会内に会員情報管理部門を設置する件に関して

会員情報をアップデートしていくために、ホームページ管理委員会内でも会員情報管理を行っていくことの必要性が提議されたが、総務管轄の名簿との整合性の維持などの問題もあり継続案件となった。

2. ホームページ更新内容の広報に関して

業務の分担を行い、各委員会からの協力も得てホームページ更新および更新内容の広報に努める。

3. 理事以外の若手委員のリクルートに関して

ホームページ関連に興味やスキルを有する会員には理事でなくとも協力参加を求めることを検討。

報告事項：

ホームページアクセス状況

8月 1848 9月 1912 10月 2181 ユーザーとアクセスは順調に増加している。

検索をしてアクセスされているユーザーが多く、ダイレクトのアクセスは2割程度であった。

10、令和5年度第3回医療システム委員会

11/19・東京

宮崎理事

【協議・検討事項】

- 第37回JCOA学術集会（熊本）では医療システム委員会からはシンポジウムを企画しない。

勤務医の方々に周知するためJOA学術集会でのシンポジウム開催へ向けて企画検討中。

- スクルトレーナー制度について

島根県がモデル事業をしている。事業企画として医師会も開業医も含まれていない。認定スクルトレーナーのセミナーも開催されている。もともと日整会の下部組織であった公益財団法人運動器の健康・日本協会には日整会から補助金が出ている。資格制度で資金を獲得しようとしているもよう。地元でしか分からない情報があるので、各県からの情報収集が必要。運動器の健康・日本協会 学校保健委員会では（日医総研ワーキングペーパー診療補助行為に関する法的整理2016）を根拠に認定スクルトレーナー制度を整備しようとしているが、法的根拠はない。日医総研のものは日本医師会が認めているものではない。医療システム委員会では日本医師会が日医総研をどのように位置付けしているかということについて質問状を準備している。来年6月に代議員会があり、質問状の案を名越委員が作成中です。

11、令和5年度JCOAシンポジウム

11/19・東京

宮崎理事

「医業類似行為の広告に関してーネット広告なども含めてー」

参加者：98名（国会議員1名、保険者40名、報道関係者4名）

基調講演1「あはき柔整の広告検討会における議論について」

認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 山口育子

基調講演2「医業類似行為の法的問題点と広告の限界」坂東総合法律事務所 弁護士 坂東司朗
シンポジウム

- 「不正広告（ネットやチラシ広告も含めて）」

JCOA医療システム委員会アドバイザー 前中孝文

- 「保険者から見た医業類似行為の広告について」トビー健康保険組合 原 直人

- 「続・施術所管理上の問題点」奈良県橿原市財務部部長 加護 剛

- 「不正広告への対応」 JCOA医療システム委員会副委員長 宮崎 浩

JCOAではチラシの不正広告の保健所への改善要望書を提出している。

ネットの不正広告は医療機関ネットパトロールに通報するように助言している。

- 「厳しさを増す整骨院・接骨院経営」元宮崎県中小企業団体中央会専務理事 清水秀一

1 2、リクルート委員会活動報告

邊見理事

令和5年度も労災・府医、各大学からの新規開業者情報から未加入者リストを作成し入会勧誘を進めてきた。今後も会員の高齢化と新規開業者減少に伴う会員数の減少が予想される。新型コロナウイルス感染症も沈静化し今後対面の研修会も増えてくると思われるので、懇親会等を利用し積極的にリクルート活動を行う。入会していただだけそうな先生は、学術委員会から研修会の案内を送付し研修会で勧誘。
現委員 小坂（大阪医薬大）大成→竹口（関西医大）明石（大公大）宮崎（近大）邊見・吉田（阪大）

1 3、広報委員会

調子理事

来年発行予定の会議報第50号の目次を提案された。総会報告および理事会議事録は掲載せず、ページ数を削減した誌面を予定。印刷会社を変更する予定で、原稿の提出を3月末までをお願いしたい。

1 4、地域情報委員会

調子理事

令和2年度から後期高齢者医療健康診査でフレイル健診が実施され、大阪府では広域連合が健診に基づいたフレイル対策としてロコトレを導入することになっている。理事の先生方に各地区医師会を通じてフレイルの抽出基準とロコトレの啓発にご協力いただきたい。フレイル対策の重要な1つがロコトレで、健診医または市町村からフレイル高齢者に対してロコトレ指導依頼が来た場合には、ご協力宜しくお願い致します。フレイル健診において何をすべきか知っている先生方は少ないと思われます。

大阪府医師会は毎年“後期高齢者のフレイルに関する研修会DVD”を作成し、郡市区医師会と市町村に配布しています。DVD内に、フレイル健診の目的と方針、フレイルとは何か、ロコトレの具体的指導方法（今年度は豊中市と富田林市が手掛けたフレイル対策の報告）が収録されています。ただし、DVDを見た医師会員数は非常に少なく、先生方にお願ひがあります。市町村のフレイル健診担当課に行って、フレイル健診におけるフレイル対策として市町村としてどのような計画を実行または計画しているか尋ね、協力できることがあればすると申し出てください。市町村の回答を地域情報委員会に報告してください。OCOAのホームページには、ロコトレのポイントを記載したパンフレットとロコトレ教室の動画を挙げています。これらをもとに、フレイル高齢者にロコトレを教えて頂ければと思います。

1 5、ロコモ健康フォーラム

木下副会長

令和5年10月28日（土） 14:00～16:20 阿倍野区民センター大ホール

参加者数：158名（関係者含む）で産経新聞社から広報して頂いたが思ったより少なかった。

主催/大阪臨床整形外科医会（OCOA） 共催/産経新聞社

後援/全国ストップ・ザ・ロコモ協議会、阿倍野区医師会 協賛/9社（前回10社）

来年について、産経新聞社は担当者が今年で定年退職となり、共催は現時点では未定。

ゲストを呼んでの講演は予算上厳しく、整形外科医の講演、ロコトレ教室、内科疾患とロコモ・フレイルについての講演、という形で開催するように計画中。

16、研修会実施報告

堀口副会長

第363回大阪臨床整形外科医会研修会（令和5年9月16日 ハイブリッド開催）

参加者 118名 会員 84名 非会員 33名 会場参加者 48名 会員 43名 非会員 5名

講演Ⅰ 日整会 N8、10、Re 日医 63 講演Ⅱ 日整会 N47、SS 日医 77

日本リウマチ学会（講演Ⅰ、Ⅱ） 日本リウマチ財団（講演Ⅰ、Ⅱ）

日本骨粗鬆症学会（講演ⅠⅡ）5単位 日本手外科学会（講演Ⅰ）1単位

第364回大阪臨床整形外科医会研修会（令和5年10月21日 対面開催）

参加者 126名 会員 93名 非会員 33名

講演Ⅰ 日整会 N4、11、SS 日医 77 講演Ⅱ 日整会 N7、SS 日医 9

日本リウマチ学会（講演Ⅰ、Ⅱ） 日本骨粗鬆症学会（講演Ⅰ）5単位

第365回大阪臨床整形外科医会研修会（令和5年11月18日 対面開催）

参加者 127名 会員 93名 非会員 34名

講演Ⅰ 日整会 N9、13 日医 61 講演Ⅱ 日整会 N7、11、SS 日医 9

日本リウマチ学会（講演Ⅰ、Ⅱ）

17、その他

山口（眞）理事

第66回大阪整形外科セミナー 一般演題を募集中。

日時：2024年3月16日（土） 会場：TKP ガーデンシティ大阪淀屋橋「バンケット 10B」

特別講演「腰部脊柱管狭窄症の診断と治療 -新たなエビデンス：MiroTAS 試験も含めて-」

福島県立医科大学医学部 整形外科講座 准教授 二階堂 琢也先生

この議事録は、

定款第40条の規定に従い、代表理事及び出席監事が記名、押印する。

令和 5 年 12 月 2 日

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

議長 会長

藤本 啓治



監事

山本 哲



監事

前中 孝文



